

# 桔梗が丘小中校統廃合・一貫教育問題

発行 桔梗が丘自治連合協議会  
 連絡先 桔梗が丘市民センター内  
 TEL 65-1206  
 FAX 65-1206  
 Eメール kikyou-ko@emachi-nabari.jp  
 5,692世帯・13,886人  
 (2016年8月1日現在)

## 統廃合準備協議会の開催は応じない

### 統廃合は行わないと受け止める

#### 桔梗が丘自治連合協が明言

小中校の統廃合と一貫教育の是非で揺れる桔梗が丘地区で、7月23・24日の両日に「桔梗が丘地域内の小中学校統廃合計画に関する地域集会」が開催された。この会合は、桔梗が丘自治連合協議会が主催したもので、行政から名張市の教育委員会と福祉子ども部が出席、3カ所の会場で約400人が傍聴した。

同協議会が3月の住民説明会での質問や協議会が提出した提言書、保護者からの聞き取りなどを精査して質疑に臨んだが、教育委員会の応答はこれまでと変わらなかった。

同委員会から注目回答があった。

「後期実施計画は『案』である。後期計画を検討し、見直しをする可能性はある」

「後期実施計画は、基本方針に基づいて作成している。これを実現するためには、保護者をはじめ地域住民の同意がなければ『(仮称)学校統廃合協議会』を発足させることはできない」。

連合会会長が「市教委から『(仮称)学校統廃合協議会』開催の要望があっても、桔梗が丘自治連合協議会としては応じる予定はない。したがって『基本方針』に基づく地域内

の小中学校の統廃合は行わない、と受け止める」と3会場で明言した。

双方ともこれまでの主張を譲らず進展に至らなかった。

8月1日、同協議会会長は「市

## ふたつに至るまで(平成28年)

2月17日市教育委員会が市議会全員協議会で「名張市立小中学校の規模・配置の適正化後期実施計画」を説明。全員協議会は決議権は無い。桔梗が丘には、現在の小学3校と中学1校(北中は校区外)を統廃合して一貫教育を実施。

「(仮称)桔梗学園」を開校すると計画だった。

住民への説明は全く無く、桔梗丘高校廃校に続いてかと思われは驚いた。しかも今度は小学生低学年が対象だ。

3月13日市教育委員会が住



教育委員会より新しい提案回答が届き、必要があると判断できるまで、今回開催したような地域集會を今後開催する計画はありません」と地域に伝えた。

3月26日自治連合協議会が「桔梗が丘地域内小中学校統廃合計画」に関する「提言委員会」の第1回會議を開催。會議は毎週末開催。

5月23日同協議会が提言書を名張市と行政関係機関に提出。桔梗が丘の全戸に配布した。

6月16・17日市議会一般質問で統廃合・一貫教育の一般質問。

7月23・24日同協議会主催の「桔梗が丘地域内の小中学校統廃合計画に関する地域集會」を開催。

8月1日7月の住民集會の結果報告を文書で公的機関に提出。桔梗が丘地区住民に回覧で報告。

## 「一貫教育」の話

今年になって頻繁に目に耳にする「一貫教育」は情報が多すぎて信頼に欠けるものもあるようです。長年の教育現場を見てきた講師が教育の神髄語ります。正しい「一貫教育」を学んでください。

記

開催日 平成28年9月10日(土)

午後1時30分開催

場所

桔梗が丘市民センター講堂

講演のテーマ

「学校制度の課題」

16・3・3・4制小学校から大学まで

講師

元大阪府立高校校長

元短期大学教授

富森盛史様

「訂正 本紙72号(7月号)の「高齢者のつどい」記事中、エイサをエイサーに、伊賀流真太鼓を伊賀流真太鼓に、外国でも演奏を国内各地で演奏に訂正します。ご連絡ありがとうございました。」